

# 教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ

修 学位論文の主旨導ができる教員

修士論文の指導については、学生の研究内容により主旨導担当以外の教員も論文指導を行います。  
詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

## 姜 恩和

修

KANG, Eunhwa

教授・研究科長 博士(社会福祉学)

歴 東京都立大学大学院社会科学研究科博士課程修了。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所研究員、首都大学東京助教、埼玉県立大学講師・准教授を経て現職

研 子ども家庭福祉、社会的養護、日韓の特別養子縁組制度の比較、予期せぬ妊娠をした女性支援。

## 近藤 千草

修

KONDO, Chigusa

教授・専攻主任 修士(教育学)

歴 青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻修了。川村学園女子大学幼児教育学科教授を経て現職

研 ルドルフ・シュタイナーの教育思想に基づく幼児教育の歴史、内容、方法等について文献やフィールドワークを通してその意義を見出す研究に取り組んでいる。

## 石川 正憲

修

ISHIKAWA, Masanori

教授 博士(医学)

歴 筑波大学医学専門学群卒業。国立精神・神経医療研究センター、筑波大学医学医療系講師を経て現職。副学長

研 統合失調症患者における認知機能障害が予後に与える影響や、留年・休学を繰り返し、結果的に退学する大学生に対する支援について取り組んでいる。

## 井上 牧子

修

INOUE, Makiko

教授 修士(社会福祉学)

歴 上智大学大学院文学研究科社会学専攻社会福祉コース博士後期課程単位取得満期退学。千葉県精神科医療センター(精神保健福祉相談員)等を経て現職

研 精神障害当事者が主体となる服薬の支援に関する研究。

## 原 孝成

修

HARA, Takaaki

教授 修士(教育学)

歴 広島大学大学院教育学研究科幼児学専攻博士後期課程退学。九州龍谷短期大学講師、西南女学院大学短期大学部助教、同教授、鎌倉女子大学短期大学部教授を経て現職

研 保育者の専門性の発達。

## 村田 久

修

MURATA, Hisashi

教授 博士(人間科学)

歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。東京大学助教、環太平洋大学教授等を経て現職

研 社会学、福祉社会学。人口減少社会・少子高齢社会における福祉・教育のあり方について、臨床レベルから政策レベルまでを含め、新たな方法論上の試みを加える形で研究を進めている。

## 越田 明子

KOSHIDA, Akiko

教授 修士(社会学)

歴 東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻博士後期課程満期退学。公立大学法人 長野大学社会福祉学部社会福祉学科教授等を経て現職

研 高齢者福祉、地域包括ケアシステムにおける高齢者の福祉的ニーズに対する基礎自治体の独自性と役割に関する研究。

## 堀米 史一

HORIGOME, Fumikazu

教授 博士(社会福祉学)

歴 日本社会事業大学社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。社会福祉法人清琉会、上智社会福祉専門学校専任講師を経て現職

研 高齢者福祉施設におけるリスクマネジメントの取組み、職員の意識についての研究、高齢者の転倒リスクに関する研究に取り組んでいる。

## 鹿内 佐和子

SHIKAUCHI, Sawako

准教授 修士(社会福祉学)

歴 上智大学大学院文学研究科社会学専攻社会福祉コース博士前期課程修了。北里大学東病院、社会福祉法人 JHC 板橋会(精神保健福祉士)等を経て現職

研 精神疾患のある学生の支援とセルフ・アドボカシー、精神疾患のある人のリカバリープロセスに関する研究に取り組んでいる。

## 松永 愛子

MATSUNAGA, Aiko

准教授 博士(学術)

歴 日本女子大学大学院博士課程後期人間生活学研究科人間発達学専攻修了。岡崎女子短期大学専任講師を経て、現・目白大学人間学部子ども学科准教授

研 研究者が現場と関わるアクションリサーチに取り組んでいる。幼児の遊びの質と保育者の援助方法に関するエスノメソッドロジーによる研究を行っている。

### 教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶

